

2016年8月3日(水)

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

フェスティバル/トーキョー16

レクチャー「クリスチャン・ルパの演劇」のご案内

ポーランドの巨匠クリスチャン・ルパ演出『Woodcutters — 伐採 —』をはじめ
 作品映像からクリスチャン・ルパの演劇作品読み解きます
 講師：ピョトル・ルツキ（演劇学者、ヴロツワフ・ポーランド劇場ドラマトゥルク）

フェスティバル/トーキョー16のメインプログラムであるクリスチャン・ルパ演出『Woodcutters — 伐採 —』を、より多くの皆様にお伝えする機会として、駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センターのご協力のもと、下記のとおりレクチャーを開催いたします。

■レクチャー「クリスチャン・ルパの演劇」

日時：2016年8月30日(火)15:00～16:00（受付開始 14:30）

内容：作品映像から読み解くクリスチャン・ルパの演劇作品

講師：ピョトル・ルツキ（演劇学者、ヴロツワフ・ポーランド劇場ドラマトゥルク）

会場：駐日ポーランド共和国大使館（別紙地図をご参照ください）

〒153-0062 東京都目黒区三田 2-13-5

定員：20名（先着順）

参加費：無料

申し込み方法：申込ウェブサイトまたはFAX（別紙の返信用紙をお使いください）にてお申込下さい。

・申込ウェブサイト→<https://pro.form-mailer.jp/fms/b93e2da6104826>

主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会

共催：ポーランド広報文化センター 後援：駐日ポーランド共和国大使館

フェスティバル/トーキョー16（Festival/Tokyo 2016）開催概要

会期：平成28年（2016年）10月15日（土）～12月11日（日）58日間

会場：東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしすがも創造舎、池袋西口公園、森下スタジオ ほか

主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会

豊島区／公益財団法人としま未来文化財団／NPO法人アートネットワーク・ジャパン、
 アーツカウンシル東京・東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

・フェスティバル/トーキョー16は東京芸術祭2016の一環として開催されます。

『Woodcutters — 伐採 —』ポーランドの巨匠が国と芸術のあり方に警鐘を鳴らす。

- タデウシュ・カントル、ピーター・ブルックにならぶ
ヨーロッパ演劇界「現代演劇界の巨匠」
クリスチャン・ルパの作品が日本初上陸。
- 1984年にオーストリアで実際に起きた話に基づいた小説をポーランドに置き換え、
国と芸術のありかたに警鐘を鳴らした作品。
- ルパが仕掛ける退廃的でスタイリッシュな
時空間に潜む、痛烈な4時間20分。



ヨーロッパ演劇界「現代演劇界の巨匠」クリスチャン・ルパの作品がフェスティバルトーキョー16でついに日本初上陸を果たします。ルパが生涯にわたって取り組み続けているオーストリアの作家トーマス・ベルンハルトによる同名の小説を翻案・演出した本作『Woodcutters — 伐採 —』は、2014年ポーランド国内の演劇賞を総なめにし、フランス等で上演され、世界的な成功を収め続ける上演時間4時間20分の大作です。

あらすじ：舞台は自殺した女優の葬儀後に開かれた「アーティストックディナー」会場。女優の旧友たちであり、社会に翻弄され芸術的理想を忘れた過剰なエゴにまみれた芸術家たちが集う。友人の弔いをよそに飲み続け、酔って互いの本音を吐露し、辛辣な批判や自虐、激しい怒りをぶつけ合います。

作品概要

翻案・美術・照明・演出：クリスチャン・ルパ 作：トーマス・ベルンハルト

東京芸術劇場 プレイハウス / 10月21日（金）～10月23日（日）計3ステージ

一般前売（全席指定）5,500円/当日6,000円、学生3,000円 ほかセット券あり

上演時間：4時間40分（途中休憩20分あり） ポーランド語上演/日本語字幕

製作：ヴロツワフ・ポーランド劇場

特別協力：ポーランド広報文化センター、Propel Performing Arts & Media Co., Ltd 共催：Culture.pl

演出家プロフィール：クリスチャン・ルパ (Krystian Lupa)

演出家、舞台美術家、作家。1943年生まれ。美術・照明デザインも手がける。物理、絵画、グラフィックや舞台演出を学び、1976年ムロジエク作『屠殺場』で演出家でデビュー。1980年代後半からは国立スタリィ劇場で創作活動を行い、主にロシア、ドイツ、オーストリア作家作品の翻案・演出に取り組む。特に舞台化が難しいとされるトーマス・ベルンハルトの戯曲・小説作品の翻案・演出に魅了されるルパは、これまでに、『イマニュエル・カント』、『石灰工場』、『消去』、『英雄広場』等々の上演に成功している。

レクチャー講師プロフィール：ピョートル・ルツキ (Piotr Rudzki)

演劇学者。ヴロツワフ・ポーランド劇場ドラマトゥルク。1995年から2000年にかけてデリー大学（インド）で教鞭をとり、現在ヴロツワフ大学准教授。ポーランド現代演劇を専門とし、2013年に出版したヴィトカツィに関する著作では1956年から1989年までのポーランド演劇に関する包括的な視点をもたらした。1994年よりポーランドの演劇雑誌『Notatnik Teatralny (Theatrical Notebook)』の編集委員を務め、クリスチャン・ルパに関する記事も多数執筆している。

FAX ご返信用紙 FAX 03-5961-5207

ご出席希望の方は 8月26日(金)までに FAX または、申込サイトにてお申込ください。

申込ウェブサイト→<https://pro.form-mailer.jp/fms/b93e2da6104826>

駐日ポーランド共和国大使館

地図 & アクセス



駐日ポーランド共和国大使館
〒153-0062 東京都目黒区三田 2-13-5
■ JR 山手線・埼京線、東京メトロ日比谷線「恵比寿駅」東口
（スカイフォーク方面）より徒歩 15分
■ JR 山手線、東京メトロ南北線、都営地下鉄三田線「目黒駅」西口より徒歩 15分
※駐車場のご用意はございませんのでご了承下さい。

★駐日ポーランド共和国大使館のセキュリティ規定により、会場入り口にてご登録のお名前を確認させていただきます。
ご登録のない方はご入場いただけませんので、ご注意ください。

....

お名前(日本語): _____ (英字) _____

TEL: _____ FAX: _____

e-mail: _____

備考:

※いただいた個人情報は当事業に関係するもの以外では使用いたしません。

本資料のお問い合わせ フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報担当: 小倉・武田

電話: 03-5961-5202 ファクス: 03-5961-5207 Eメール: press@festival-tokyo.jp

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-15-10 東部区民事務所 3階 www.festival-tokyo.jp/